



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.org/>



済生会

わかやま

NEWS

第53号

発行日: 2026.1

～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

丙午の年に寄せて — 令和八年 新春のご挨拶 —

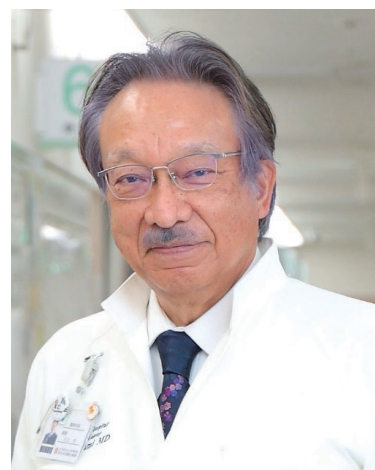
新しい年を迎え、皆さまに心よりお祝い申し上げます。

旧年中は当院の医療・看護にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和八年、丙午（ひのえうま）の年を迎えました。「丙」は太陽、「午」は真昼を意味し、万物が大きく成長し、勢いが極まる年とされています。火の力が最も強く、情熱や決断、そして再生の象徴ともいわれる特別な年です。

1966年の丙午では、古くからの言い伝えの影響で出生数が大きく減少した歴史があります。それから約60年が経ち、今の日本は少子高齢化や人口減少という新たな課題に直面しています。生まれてくる命が減り、社会を支える世代も少なくなる中、医療や介護の現場も大きな影響を受けています。

こうした厳しい状況の中でも、地域の皆さまの健康と安心を守るため、私たちは日々努力を重ねております。丙午の炎は、ただ燃やすだけでなく、暗闇を照らし、冷えた心を温め、古いものを新しく生まれ変わらせる力を持っています。今こそ、医療や地域社会に「再生（さいせい）の火」が必要な時だと感じております。



済生会和歌山病院
院長 川上 守



地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院





私たちはこれからも、変化を恐れず、より柔軟で温かい医療・福祉を目指してまいります。今年は診療報酬の改定も予定されており、医療の価値が社会全体で見直されるきっかけになることを願っております。

医療技術は日々進歩していますが、最も大切なのは「人の心」と感じております。どんなに医療が進化しても、患者さんやご家族の不安に寄り添い、希望をともに見つけていく姿勢を忘れてはなりません。今年も職員一同、「誠意と笑顔で寄り添う医療」を大切に、皆さまの健康と生活を支えてま

いります。

丙午の年が、皆さまお一人おひとりにとって、笑顔あふれる希望と活力に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年も、済生会和歌山病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和八年 元旦

～ 済生会和歌山病院連携医の先生方へ ～

平素よりお世話になりありがとうございます。

2023年11月に開設いたしました「片頭痛外来」ですが、当外来受診患者が2025年8月に100人に到達いたしました。

多くの患者さんが先生方からのご紹介です。改めて御礼申し上げます。予約外で直接受診される患者さんも含めるともっと多くなっています。

当初の予想通り適切な診療を受けられていない患者さんは多くおられました。慢性化すると治療に難渋しますので治癒率100%とは言えませんが、頭痛頻度の減少及び頭痛程度の軽減を得られた患者さんは多くおられ、感謝のお言葉を多く頂いております。

和歌山県には頭痛専門医が4名(2025年10月現在)しかおらず、一次性頭痛診療においては後進県です。私もまだ頭痛専門医の資格を取得しておりませんが来年2026年に受験資格を得る予定であり日々知識のアップデートに努めております。一人でも多くの頭痛難民の助けとなるよう努力いたします。

「片頭痛外来」と記載ございますが、片頭痛以外の慢性頭痛全般も対象としております。治療に困っておられる頭痛患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。

なお、急性発症の症例につきましては即座の脳卒中除外が必須でございます。

従来通りその日の救急担当医が対応いたしますので、都度ご連絡いただきますようお願いいたします。

末筆ながら、皆様方のご健勝をお祈りしますとともに、今後なお一層ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



脳神経外科
三木 潤一郎



～ 感染防止対策室より vol.7 ～

感染対策および抗菌薬適正使用の推進に関する相談窓口のご案内

当院は感染対策向上加算1を算定しており、感染対策委員会を中心に、院内感染対策や抗菌薬適正使用の推進に努めています。

感染症専門医は不在ですが、ICD（インфекション・コントロール・ドクター）、感染管理認定看護師、感染制御認定薬剤師が在籍しております。

薬剤耐性菌対策、COVID-19、新興再興感染症、抗菌薬適正使用等、感染対策に関するご相談があれば、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

※至急のご相談は

お電話（平日9:00～17:00、代表番号073-424-5185）でも可能です。

メールアドレス:ast-ict-consultation@saiseikai-wakayama.jp

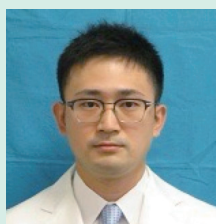


感染管理認定看護師

佐藤 慎悟



～ 赴任のお知らせ ～

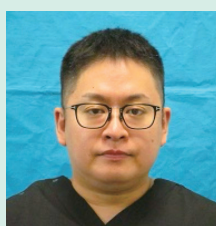


消化器内科
山崎 博史 医師

2025年10月から消化器内科に着任しました。

和歌山県立医科大学附属病院で2019年4月から初期研修した後に、2021年4月に同院内科学第二講座に入局しました。以前も短い期間でしたが済生会和歌山病院で勤務しておりましたが、今回縁あって再度勤務することとなりました。患者様の症状改善に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

専門領域：消化器内科学
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2019年 卒業



整形外科
南野 和佳 医師

このたび2025年7月より着任いたしました南野和佳です。これまでは、かつらぎ町の紀北分院で勤務しておりました。地域の皆さまのお力になれるよう丁寧な診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

専門領域：整形外科一般
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2020年 卒業



整形外科
菅野 裕一郎 医師

2025年7月に着任いたしました菅野と申します。休日は自然の中で釣りを楽しみ、心身を整えております。釣りで培った「観察眼」と「集中力」は、診療にも不思議と役立っており、患者さんの小さな変化も見逃さないという強みとなっております。地域の皆様の「健康」という「大物」を逃さず、患者さんに寄り添い、安心して治療に臨んでいただける医療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

専門領域：整形外科一般
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2021年 卒業



地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院



～ 栄養管理科から季節のオススメレシピの紹介～

豚肉の香味野菜巻き エネルギー:148kcal(1人前)

材料 2人前

・豚ロース肉(しゃぶしゃぶ用)	120g(約10枚)		
・根深ねぎ	60g		
・青じそ	5枚		
・しょうが	1かけ	・酒	小さじ2
・小麦粉	小さじ4	・しょうゆ	小さじ2
・サラダ油	小さじ1	・みりん	小さじ2

} A(合わせておく)



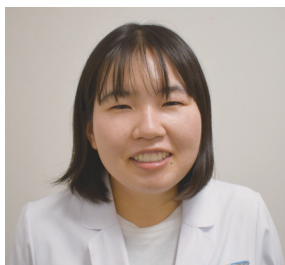
- ①根深ねぎ、しょうがはせん切りにして、青じそは茎を落として縦半分に切る。
- ②豚肉の幅の広い方を手前に縦長に置き、青じそ、根深ねぎ、しょうがをのせて巻く。小麦粉を薄くまぶしつける。
- ③フライパンにサラダ油をひいて中火で熱し、②の巻き終わりを下にして置く。
蓋をして弱めの中火で2分ほど焼く。蓋をとって中火にし、転がしながら全体を焼く。
- ④Aを加えて30秒ほど火にかけて全体にからめる。

香味野菜は、ミョウガやゆずなど、季節や好みに合わせてお楽しみください。

◆スタッフ紹介

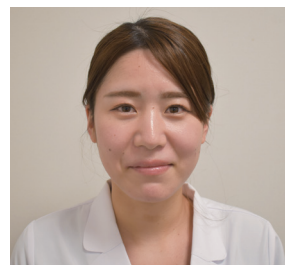
土井 麻緒(栄養管理科)

昨年、8月より入職しています。患者様が行われる食事療法がよりよい治療法となりますようサポートさせていただきます。



中尾 安希(栄養管理科)

9月より、入職しています。食事を通して、よりよい生活をサポートできるよう努めています。



～ 更生保護施設入所者に対する勉強会開催 ～

和歌山病院は、令和7年12月5日(金)なでしこプランのひとつである「更生保護施設入所者に対する勉強会」を開催いたしました。

当院の感染管理認定看護師の佐藤慎悟師長より「冬の感染症から体を守る5つのポイント」と題しまして、ノロウイルス対策について手洗い・うがい・マスクの正しい着用方法・換気的重要性や咳エチケット・加湿のポイントや免疫を低下させない体をつくるために睡眠・食事・運動の必要性などについて講演を行いました。参加者みなさんは仕事終わりでお疲れもあるなか、17名の方に参加して頂くことができました。

手洗いチェッカーを使用しての実演の際には自ら挙手し参加される方もおられ、「全然洗えてないなあ」、「こんなに汚れ残ってるんや」など洗い残しの多さに驚かれた様子も見受けられ、手洗いの難しさを実感していただくことができました。職員の方を含め参加者から感謝の言葉をいただくことができ終始和やかな雰囲気で開催することができました。

済生会の理念である「施薬救療」、ソーシャルインクルージョンの実現に向けて、今後も継続して訪問や講演等の活動を行ってまいります。





～ 地域医療連携室からのお知らせです ～

和歌山県ナース章受賞

地域医療連携室副室長
廣瀬 朱実

令和7年10月22日(水)和歌山県庁本館にて令和7年度和歌山県ナース章の受章式典が行われ、当院の地域医療連携室・副室長の廣瀬朱実看護師が和歌山県知事より和歌山県ナース章が贈られました。

廣瀬副室長は、看護部長として看護キャリア開発ラダーの構築、eラーニングを導入した卒後看護教育を開始されるなど、看護師育成に尽力されました。

また、長年にわたり和歌山県病院協会において委員会活動にも積極的に取り組み、看護業務向上と貢献への功績が称され和歌山県看護協会からの推薦により受賞されました。

「この度、栄えある和歌山県ナース章を賜り身に余る光栄に存じます。ご推薦くださいました関係者の皆様、これまでご指導ご支援いただいた方々に心からお礼申し上げます。」と感謝の言葉をいただきました。

長年にわたる廣瀬副室長の努力に敬意を表すとともに、この受章を心より祝い申し上げます。



無料低額診療事業

済生会和歌山病院では医療費にお困りの方に対し無料低額診療事業【自己負担額の免除】を行っています。世帯の収入額や家庭状況等をお聞きし、ご相談のうえ決定します。詳細は地域医療連携室・医療ソーシャルワーカーへお問い合わせください。

地域医療連携室・

医療ソーシャルワーカー TEL.073-424-5185 (代表) 受付時間:[平日]10時00分～16時00分まで

ご相談
ください!



Insatgram (インスタ) はじめました

和歌山病院は令和7年10月25日開院記念日より公式Instagramをはじめました。院内の日常や院内行事などこれからもどんどん紹介していきますのでフォロー宜しくお願いします。



@SAISEIKAI_WAKAYAMA

地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院



済生会和歌山病院外来診療予定表

(令和8年1月6日現在)

区 分		月	火	水	木	金
禁 煙 外 来 (P M)			下角あい子※9		房本安矢 ※9	
フ ッ ト ケ ア 外 来		担当医※13:30~	—	—	—	—
内 科	糖 尿 病 代 謝 内 科	福 田 咲 子 奥 尚 子	英 肇 担 当 医	岩 倉 浩	英 肇	太 地 真 衣 美 担 当 医
	循 環 器 内 科	尾 鼻 正 弘	医大応援医師	尾 鼻 正 弘	下角あい子	下角あい子 医大応援医師 (予約のみ)
	呼 吸 器 内 科	高 木 陽	—	赤 松 弘 朗	高 木 陽	—
肥 満 症 外 来 (P M)		—	福田咲子※10	—	太地真衣美※10	—
睡眠時無呼吸症外来(PM)		—	太地真衣美※5	堀川禎夫 ※5	—	高 木 陽 ※5
リウマチ・膠原病科		—	田 中 克 典	—	田 中 克 典	—
脳 神 経 外 科		三木潤一郎※7	小倉光博※1 横 矢 美 穂	小倉光博※1	三木潤一郎※7 横 矢 美 穂	仲 寛 (第1・3・4・5週)
もの忘れ外来(PM)		—	—	小 倉 光 博	小 倉 光 博	—
消化器病 センター 大腸肛門病 センター	消 化 器 内 科	川 口 雅 功 ※10:00~	伊 豫 は る か	川 口 雅 功 山 崎 博 史	伊 豫 は る か	川 口 雅 功 山 崎 博 史
	外科(消化器)	上 田 勝 也	—	上 田 勝 也	—	上 田 勝 也
血 管 外 科		藤 本 貴 大	高 垣 有 作 (リンパ浮腫) ※4	下 肢 総 合 診療センター (予約紹介のみ) ※6	出 口 雄 也	松 田 真 以 子
呼 吸 器 外 科		—	—	—	—	房 本 安 矢
整 形 外 科		川 上 守 (新患診のみ)	川 上 守 山 崎 悟	新 患 診	川 上 守 山 崎 悟	藤 木 貴 顕 野 田 雄 祐
		南 野 和 佳	藤 木 貴 顕		南 野 和 佳	—
		菅 野 裕 一 郎	野 田 雄 祐		菅 野 裕 一 郎 ※8	—
人 工 関 節 セ ン タ ー		—	—	—	山 崎 悟 ※3	—
耳 鼻 咽 喉 科		担 当 医	—	担 当 医	—	—
眼 科		—	今居一輝(隔週) 中西寛隆(隔週)	—	—	吉 田 太 理
皮 膚 科		加 山 孝 樹	—	山 本 有 紀 ※2 (皮膚外科)	—	野田莉佳(第1週) 山本有紀(第2週) 坂本翔一(第3週) 国本佳代(第4・5週) (皮膚外科)
泌 尿 器 科		—	—	若宮崇人(第1・3・5週) 岩橋悠矢(第2・4週)	—	曲 人 保

専門
外来

- ※ 1 脳神経外科 小倉 光博医師(火・水)の外来では一般診療に加え、専門外来(三叉神経痛・片側顔面麻痺・舌咽神経痛)を行っております。
- ※ 2 皮膚科 山本 有紀医師(水曜日)は皮膚外科専門外来の為、予約診のみとなります。
- ※ 3 人工関節センター 山崎 悟医師(木曜日)は15:00から予約診のみとなります。
- ※ 4 血管外科 高垣 有作医師(火曜日)は予約診のみとなります。
- ※ 5 睡眠時無呼吸症外来は13:00から予約診のみとなります。
- ※ 6 下肢総合診療センターは予約診のみとなります。
- ※ 7 脳神経外科 三木 潤一郎医師(月・木)片頭痛外来は13:30から予約診のみとなります。
- ※ 8 整形外科 菅野 裕一郎医師(第1・3木曜日)骨粗鬆症外来は15:00から予約診のみとなります。
- ※ 9 禁煙外来は13:00から予約診のみとなります。
- ※ 10 肥満症外来は13:00から予約診のみとなります。

診療
案内

診 察 日:月~金曜日
受 付 時 間:午前8時30分~午前11時(但し、火・木 整形外科 川上は8:30~14:00)
休 診 日:土・日・祝祭日(年末年始)



済生会和歌山病院
ホームページQRコード



ご紹介の際は、患者さんの待ち時間短縮の為にご予約をお取り
下さいますようお願いいたします。

交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187